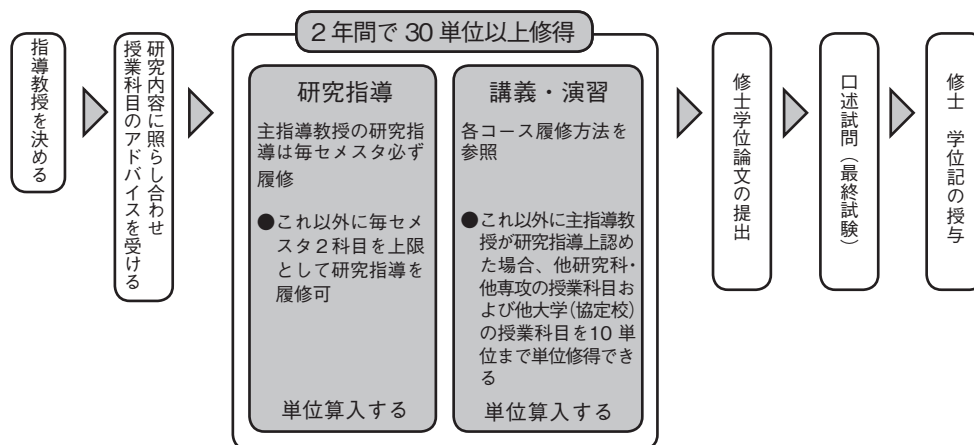


[経済学研究科]

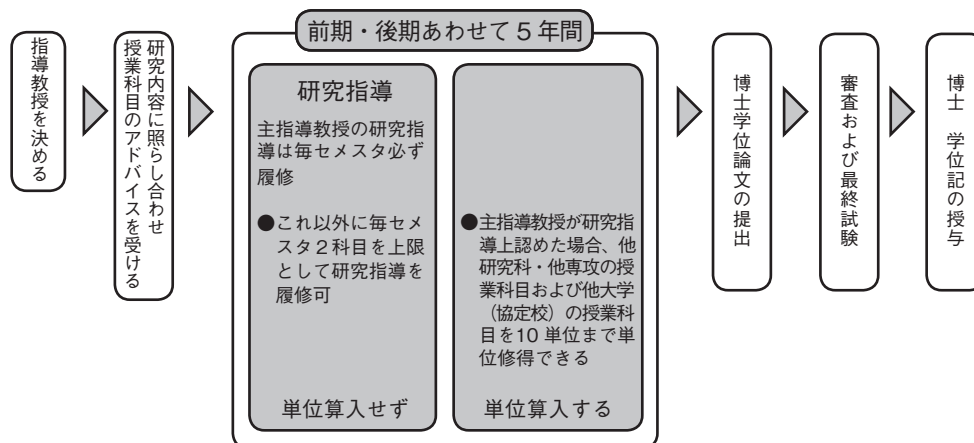
経済学専攻

前期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

後期課程 履修の流れ



ただし、2014年度以前入学生についてはセメスタを年度に読み替える

経済学専攻

博士前期課程〔経済学コース〕

	2015年度以降入学生適用			2014年度以前入学生適用		講義・演習の別	職名	担当教員	備考		
	科目名	単位	学期	科目名	単位						
基礎科目	ミクロ経済学 A	2	春秋	上級ミクロ経済学	4	講	教授	佐々木 啓介			
	ミクロ経済学 B	2	春秋				教授	斎藤 孝			
	マクロ経済学 A	2	春秋	上級マクロ経済学	4		教授	隅田 和人			
	マクロ経済学 B	2	春秋				准教授				
	統計・計量経済学 A	2	春秋	統計・計量経済学	4						
	統計・計量経済学 B	2	春秋								
専門科目	理論・政策領域	財政学 A	2	春秋	財政学	4	義	教授	大野 裕之		
		財政学 B	2	春秋				教授	竹澤 康子		
		金融論 A	2	春秋	金融論	4		教授	吉田 明子		
		金融論 B	2	春秋				准教授	島西 智樹		
		産業組織 A	2	春秋	産業組織	4		教授	道重 一郎		
		産業組織 B	2	春秋				教授	藤井 信幸		
		日本経済史 A	2	春秋	日本経済史	4					
		日本経済史 B	2	春秋							
		西欧経済史 A	2	春秋	西欧経済史	4					
		西欧経済史 B	2	春秋							
	グローバル・エコノミー領域	国際経済 A	2	春秋	国際経済	4		准教授	佐野 聖香		
		国際経済 B	2	春秋				教授	郝 仁平		
		開発経済論 A	2	春秋	開発経済論	4					
		開発経済論 B	2	春秋							
		アジア経済 A	2		アジア経済	4				本年度休講	
		アジア経済 B	2								
		国際金融論 A	2	春秋	国際金融論	4		教授	棟近 みどり		
		国際金融論 B	2	春秋							
		産業・金融領域	金融システム論 A	2	春秋	金融システム論		4	教授	益田 安良	
			金融システム論 B	2	春秋				教授	安田 武彦	
中小企業論 A	2		春秋	中小企業論	4	教授	城川 俊一				
中小企業論 B	2		春秋								
情報経済 A	2		春秋	情報経済	4						
情報経済 B	2		春秋								
産業クラスター論 A	2			産業クラスター論	4			本年度休講			
産業クラスター論 B	2										
企業金融論 A	2			企業金融論	4			本年度休講			
企業金融論 B	2										
生活経済領域	社会経済システム A	2	春秋	社会経済システム	4	教授	浅野 清				
	社会経済システム B	2	春秋								
	労働経済 A	2		労働経済	4			本年度休講			
	労働経済 B	2									
	環境経済 A	2	春秋	環境経済	4	教授	小川 芳樹				
	環境経済 B	2	春秋								
	社会保障 A	2	春秋	社会保障	4	准教授	川瀬 晃弘				
	社会保障 B	2	春秋			教授	藤井 信幸				
研究指導	社会経済史 A	2	春秋	社会経済史	4						
	社会経済史 B	2	春秋								
	研究指導 I A	2	春秋	研究指導 I	4	教授	佐々木 啓介				
	研究指導 I B	2	春秋			教授	斎藤 孝				
	研究指導 II A	2	春秋	研究指導 II	4						
	研究指導 II B	2	春秋								

経済学

	2015年度以降入学生適用			2014年度以前入学生適用		講義・演習の別	職名	担当教員	備考
	科目名	単位	学期	科目名	単位				
研究指導	研究指導ⅢA	2		研究指導Ⅲ	4				本年度休講
	研究指導ⅢB	2							
	研究指導ⅣA	2	春秋	研究指導Ⅳ	4		准教授	隅田和人	
	研究指導ⅣB	2							
	研究指導ⅤA	2	春秋	研究指導Ⅴ	4		教授	大野裕之	
	研究指導ⅤB	2							
	研究指導ⅥA	2	春秋	研究指導Ⅵ	4		教授	竹澤康子	
	研究指導ⅥB	2							
	研究指導ⅦA	2	春秋	研究指導Ⅶ	4		教授	吉田明子	
	研究指導ⅦB	2							
	研究指導ⅧA	2	春秋	研究指導Ⅷ	4		准教授	島西智樹	
	研究指導ⅧB	2							
	研究指導ⅨA	2	春秋	研究指導Ⅸ	4		教授	藤井信幸	
	研究指導ⅨB	2							
	研究指導ⅩA	2	春秋	研究指導Ⅹ	4		准教授	佐野聖香	
	研究指導ⅩB	2							
	研究指導ⅪA	2		研究指導Ⅺ	4				本年度休講
	研究指導ⅪB	2							
	研究指導ⅫA	2	春秋	研究指導Ⅻ	4		教授	郝仁平	
	研究指導ⅫB	2							
	研究指導ⅬA	2	春秋	研究指導Ⅼ	4		教授	道重一郎	
	研究指導ⅬB	2							
	研究指導ⅮA	2	春秋	研究指導Ⅾ	4		教授	棟近みどり	
	研究指導ⅮB	2							
	研究指導ⅰA	2	春秋	研究指導ⅰ	4		教授	益田安良	
	研究指導ⅰB	2							
	研究指導ⅱA	2	春秋	研究指導ⅱ	4		教授	安田武彦	
	研究指導ⅱB	2							
	研究指導ⅲA	2	春秋	研究指導ⅲ	4		教授	城川俊一	
	研究指導ⅲB	2							
研究指導ⅳA	2	春秋	研究指導ⅳ	4		教授	浅野清		
研究指導ⅳB	2								
研究指導ⅴA	2		研究指導ⅴ	4				本年度休講	
研究指導ⅴB	2								
研究指導ⅵA	2	春秋	研究指導ⅵ	4		准教授	川瀬晃弘		
研究指導ⅵB	2								
研究指導ⅶA	2	春秋	研究指導ⅶ	4		教授	小川芳樹		
研究指導ⅶB	2								

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ（年度）毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ（年度）必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。
- 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 「領域」は履修の目安であり、複数の領域にまたがって授業科目を履修することはさしつかえない。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士前期課程〔環境コース〕

	2015年度以降入学生適用			2014年度以前入学生適用		講義・演習の別	職名	担当教員	備考	
	科目名	単位	学期	科目名	単位					
基礎科目	環境学	2	春	環境学	2	講義	教授	鈴木孝弘		
	ミクロ経済学A	2	春	上級ミクロ経済学	4		教授	佐々木啓介		
	ミクロ経済学B	2	秋				准教授	隅田和人		
	統計・計量経済学A	2	春	統計・計量経済学	4					
	統計・計量経済学B	2	秋							
専門科目	環境経済学A	2	春	環境経済学	4		義	教授	小川芳樹	
	環境経済学B	2	秋					教授	山谷修作	
	廃棄物政策A	2	春	廃棄物政策	4			客員教授	柳裕治	
	廃棄物政策B	2	秋					教授(兼任)	和田尚久	
	環境と会計A	2	春	環境と会計	4			客員教授	神山宣彦	
	環境と会計B	2	秋					教授	鈴木孝弘	
	環境税特論	2	春	環境税特論	2			教授	清田佳美	
	公害対策論A	2	春	公害対策論	4	教授		大野裕之		
	公害対策論B	2	秋							
	環境学特論	2	春	環境学特論	2					
	環境評価論A	2	春	環境評価論	4					
	環境評価論B	2	秋							
財政学A	2	春	財政学	4						
財政学B	2	秋								
研究指導	研究指導I A	2	春	研究指導I	4	教授	鈴木孝弘			
	研究指導I B	2	秋			教授	小川芳樹			
	研究指導II A	2	春	研究指導II	4	教授	山谷修作			
	研究指導II B	2	秋			客員教授	柳裕治			
	研究指導III A	2	春	研究指導III	4	教授	清田佳美			
	研究指導III B	2	秋							
	研究指導IV A	2	春	研究指導IV	4	教授	神山宣彦			
	研究指導IV B	2	秋							
	研究指導V A	2	春	研究指導V	4					
	研究指導V B	2	秋							
研究指導VI A	2	春	研究指導VI	4						
研究指導VI B	2	秋								

履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ（年度）毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ（年度）必ず履修すること。
- 副指導教授の「研究指導」は、在学中1回以上履修すること。ただし、副指導教授の「研究指導」の単位のうち修了要件の単位への算入は4単位を上限とする。
- 「講義」は、在学中1回のみ履修・単位修得することができる（よって、同一科目を2回以上履修・単位修得することはできない）。
- 経済学専攻内他コースの授業科目も履修することができる。この場合、事前に科目担当者の許可を得ること。この単位は、修了要件の単位に充当する。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。

博士後期課程

2015年度以降入学生適用			2014年度以前入学生適用		講義・演習の別	職名	担当教員	備考
科目名	単位	学期	科目名	単位				
研究指導 I A		春秋	研究指導 I			教授	佐々木啓介	
研究指導 I B			研究指導 II			教授	郝仁平	
研究指導 II A		春秋	研究指導 III					本年度休講
研究指導 II B			研究指導 IV			教授	大野裕之	
研究指導 III A		春秋	研究指導 V			教授	益田安良	
研究指導 III B			研究指導 VI			教授	中北徹	
研究指導 IV A		春秋	研究指導 VII			教授	道重一郎	
研究指導 IV B			研究指導 VIII			教授	浅野清	
研究指導 V A		春秋	研究指導 IX			教授	城川俊一	
研究指導 V B			研究指導 X			教授	山田肇	
研究指導 VI A		春秋	研究指導 XI			教授	松原聡	
研究指導 VI B			研究指導 XII			教授	今村肇	
研究指導 VII A		春秋	研究指導 XIII			教授	鈴木孝弘	
研究指導 VII B			研究指導 XIV			教授	小川芳樹	
研究指導 VIII A		春秋	研究指導 XV			教授	山谷修作	
研究指導 VIII B								

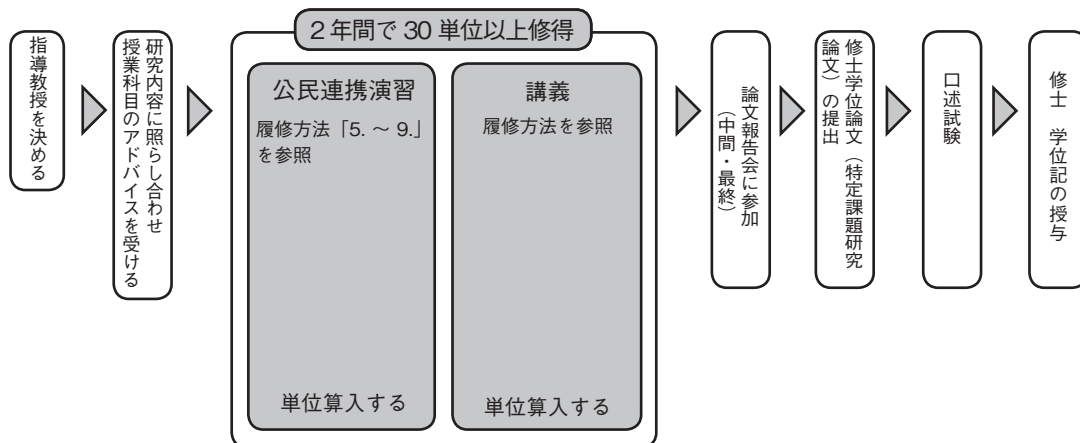
履修方法

- 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
- 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ（年度）毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・単位修得（0単位）することができる。
- 主指導教授の「研究指導」は、毎セメスタ（年度）必ず履修すること。
- 本表に掲げたものの他、指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。

公民連携専攻

修士課程

履修の流れ



公民
連携

公 民 連 携 専 攻

修士課程

	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位		職 名	担当教員	備 考	
			春	秋				
選択必修科目	選択科目※	PPP 総論 I	2		教授	根本 祐二	2014年度以前入学生は必修 2014年度以前入学生は必修	
		PPP 総論 II	2	2	教授	根本 祐二		
	演	1セメスタ対象	公民連携演習 I ①	2	2	教授	中北 徹	
			公民連携演習 I ②	2	2	教授	山田 肇	
			公民連携演習 I ③	2	2	准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
			公民連携演習 I ④					本年度休講
			公民連携演習 I ⑤	2	2	教授	川崎 一泰	
			公民連携演習 I ⑥	2	2	教授	根本 祐二	
			公民連携演習 I ⑦	2	2	客員教授	関 幸子	
			公民連携演習 I ⑧	2	2	教授	サム田 渚	
			公民連携演習 I ⑨	2	2	客員教授	金谷 隆正	
			公民連携演習 I ⑩	2	2	客員教授	南 学	
			公民連携演習 I ⑪	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
			公民連携演習 I ⑫	2	2	特任教授	五十嵐 誠	
	演	2セメスタ対象	公民連携演習 II ①	2	2	教授	中北 徹	
			公民連携演習 II ②	2	2	教授	山田 肇	
			公民連携演習 II ③	2	2	准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
			公民連携演習 II ④					本年度休講
			公民連携演習 II ⑤	2	2	教授	川崎 一泰	
			公民連携演習 II ⑥	2	2	教授	根本 祐二	
			公民連携演習 II ⑦	2	2	客員教授	関 幸子	
			公民連携演習 II ⑧	2	2	教授	サム田 渚	
			公民連携演習 II ⑨	2	2	客員教授	金谷 隆正	
			公民連携演習 II ⑩	2	2	客員教授	南 学	
			公民連携演習 II ⑪	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
			公民連携演習 II ⑫	2	2	特任教授	五十嵐 誠	
	演	3セメスタ対象	公民連携演習 III ①	2	2	教授	中北 徹	
			公民連携演習 III ②	2	2	教授	山田 肇	
			公民連携演習 III ③	2	2	准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
			公民連携演習 III ④					本年度休講
			公民連携演習 III ⑤	2	2	教授	川崎 一泰	
			公民連携演習 III ⑥	2	2	教授	根本 祐二	
			公民連携演習 III ⑦	2	2	客員教授	関 幸子	
			公民連携演習 III ⑧	2	2	教授	サム田 渚	
			公民連携演習 III ⑨	2	2	客員教授	金谷 隆正	
			公民連携演習 III ⑩	2	2	客員教授	南 学	
			公民連携演習 III ⑪	2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]
			公民連携演習 III ⑫	2	2	特任教授	五十嵐 誠	
	演	4セメスタ対象	公民連携演習 IV ①	2	2	教授	中北 徹	
			公民連携演習 IV ②	2	2	教授	山田 肇	
			公民連携演習 IV ③	2	2	准教授	松崎 大介	[遠隔専門]
			公民連携演習 IV ④					本年度休講
			公民連携演習 IV ⑤	2	2	教授	川崎 一泰	
			公民連携演習 IV ⑥	2	2	教授	根本 祐二	
			公民連携演習 IV ⑦	2	2	客員教授	関 幸子	
			公民連携演習 IV ⑧	2	2	教授	サム田 渚	
			公民連携演習 IV ⑨	2	2	客員教授	金谷 隆正	
			公民連携演習 IV ⑩	2	2	客員教授	南 学	
公民連携演習 IV ⑪			2	2	教授	根本 祐二	[遠隔専門]	
公民連携演習 IV ⑫			2	2	特任教授	五十嵐 誠		

※2015年度入学生推奨科目（詳細は p.148「履修方法」4を参照）。

コース	授業科目・研究指導	サブタイトル	講義・演習の別	単位		職名	担当教員	備考
				春	秋			
選択科目	シティ・マネジメントコース	シティ・マネジメントⅠ	日本の地方行財政制度	講義	2	客員教授	南学	
		シティ・マネジメントⅡ	地域リーダー論	講義	2	客員教授	関幸子	
		シティ・マネジメントⅢ	ICMA連携科目:世界のシティ・マネジメント	講義	2	教授	サム田 潤	
		シティ・マネジメントⅣ	バランスバジェット手法実践	講義	2	教授	サム田 潤	
		シティ・マネジメントⅤ	公共施設・インフラマネジメント	講義	2	教授	根本 祐二	
		シティ・マネジメントⅥ	地域情報化	講義	2	教授	山田 肇	(隔年開講)
	Global PPP コース	Global PPP Ⅰ	海外 PPP 制度手法論	講義	2	客員教授	美原 融	
		Global PPP Ⅱ	国連 PPP 推進局連携科目:世界の PPP 政策	講義	2	教授	サム田 潤	
		Global PPP Ⅲ	English Presentation	講義	2	講師	ジョセフ リング	
		Global PPP Ⅳ	Best Proposal for RFP	講義	2	客員教授	ゲイリー・ミラー	
		Global PPP Ⅴ	Asian Economy	講義	2	非常勤講師	姜 雪 潔	
		Global PPP Ⅵ	世界のインフラ PPP	講義	2	客員教授	中村 賢一	
		Global PPP Ⅶ	PPP Theory	講義	2	非常勤講師	難波 悠	
	PPPビジネスコース	PPP ビジネスⅠ	PPP ケーススタディ	講義	2	特任教授	五十嵐 誠	
		PPP ビジネスⅡ	NCPPP 連携科目:世界の PPP ビジネス	講義	2	教授	サム田 潤	
		PPP ビジネスⅢ	PPP ビジネスモデル	講義	2	客員教授	阿部 仁志	
		PPP ビジネスⅣ	PPP プランニング論	講義	2	客員教授	金谷 隆正	
		PPP ビジネスⅤ	まちづくりビジネス論	講義	2	客員教授	清水 義次	
		PPP ビジネスⅥ	財務計画論	講義	2	特任教授	五十嵐 誠	
	選択科目	経済学基礎	講義	2	教授	川崎 一泰		
		公共経済学	講義				本年度休講(隔年開講)	
政策評価論		講義	2	教授	松原 聡	(隔年開講)		
PPP 経済理論		講義	2	教授	加賀見 一彰			
金融論基礎		講義	2	教授	中北 徹			
地域金融論		講義	2	特任教授	五十嵐 誠			
PPP ファイナンス論		講義	2	客員教授	金谷 隆正			
財政学基礎		講義	2	准教授	松崎 大介			
日本の経済財政		講義	2	客員教授	坪内 浩			
PPP ビジネスマネジメント論		講義				本年度休講		
財務分析論		講義	2	客員教授	佐藤 真良			
知的財産マネジメント論		講義				本年度休講(隔年開講)		
PPP 論文研究		講義	2	特任教授	五十嵐 誠			
PPP 制度手法論		講義	2	客員教授	美原 融			
環境経済学		講義	2	教授(兼任)	小川 芳樹			
エネルギー経済論		講義	2	教授(兼任)	小川 芳樹			
PPP プロジェクト演習①		講義	2	教授	サム田 潤			
PPP プロジェクト演習②		講義	2	教授	サム田 潤			
PPP デザイン論	講義	2	客員教授	片桐 徹也				
海外 PPP 実務演習①	講義	2	非常勤講師	難波 悠	注1			
海外 PPP 実務演習②	講義	2	非常勤講師	難波 悠	注1			

注1 海外 PPP 実務演習 履修要件

①以下の機関、もしくはこれらの機関と契約しているコンサルタント、サプライヤー、請負等の民間企業、非営利団体の海外 PPP 担当スタッフであること

- ・国連、世銀、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行等の国際機関
- ・外国政府
- ・内閣府、外務省、在外公館、JICA、JBIC、DBJ、日本プロジェクト産業協議会等の日本において対外的 PPP 活動を行っている機関
- ・その他海外での PPP プロジェクトに携わっている企業等

② PPP 総論Ⅰの単位または PPP Theory の単位を取得済みもしくは同等の知識を有すると認められること。

③上記活動を、遠隔システムまたは電子メール等により担当教員に定期的(月1回程度)に報告し指導を受ける。

公民
連携

履修方法

- 履修する授業科目は入学時ガイダンス、主指導教授の指示を受けて決定すること。
- 修了に必要な単位数は合計30単位以上とする。
- 同一名称の講義科目は、複数履修・単位取得でき、修得した単位はすべて修了単位として認められる。ただし、授業運営上、履修登録を制限することがある。
- 「PPP 総論Ⅰ」および「PPP 総論Ⅱ」は、本専攻において必要とされる基本的な知識の習得を目的とするものであり、履修が推奨される。
- 主指導教授は、「公民連携演習」科目担当教員から1名決定すること。主指導教授の演習は、原則として毎セメスタ履修すること。ただし、主指導教授の演習と同時限に開講されている講義科目を履修するなど主指導教授が指導上必要と認めた場合は、この限りではない。
- 副指導教授は、主指導教授の助言を得て1名または2名決定すること。副指導教授は、当該年度に「公民連携演習」または講義科目を開講している専任教員（教授・特任教授）または客員教授から決定すること。
- 主または副指導教授以外の「公民連携演習」は履修することができない。
- 「公民連携演習」は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順に原則毎セメスタ履修すること。5セメスタ以上在学する場合（Ⅰ～Ⅳを修得済み）は再度Ⅳを履修すること。
- 主または副指導教授は、各人の希望および教育的配慮に基づいてセメスタごとに変更できる。
- 修了には、修士学位論文または特定課題研究論文の作成、報告会への参加（中間、最終）および口述試験合格が必須である。書式等に関しては下表を参照すること。
- 本表に掲げたものの他指導教授が教育研究上必要と認めるときは、本学の他研究科・専攻の授業科目を10単位まで単位修得することができる（同一名称の科目は1回のみ単位修得することができる）。修得した単位は修了要件の単位に充当する。
- 本専攻が開講する講義・演習は本専攻以外の学生が履修することはできない。

	修士論文	特定課題研究
趣 旨	公民連携に関連するテーマに関する考察	
目 的	「広い視野に立って精深な学識を授け専攻分野における研究能力を培う」（大学院設置基準第3条）という修士課程の趣旨に沿ったものであること	企業、政策官庁、自治体などに対して提案し相手方に検討を促すものであること
審査項目	以下を総合的に判断する 1 独創性（課題の把握・整理方法、解決方法の独創性） 2 論理的一貫性（解決方法の合理性、論証による説得力、一貫性） 3 理論的発展性（公民連携の制度や手法に対する発展性） 4 適時性（公民連携一般の抱える課題や、提案先が抱える課題への適時性） 5 応用可能性（社会的貢献性）（課題解決に当たり検討すべき諸問題の考察、提案の実現可能性）	
形 式	論文形式	
文 字 数	目安として60,000字程度以上	目安として40,000字程度以上